

令和5年度 つぼみ保育園 事業報告書





1 基本方針 ～強く～

R5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことで様々な活動が行いやすくなり計画通りに行事を行う事ができた。

園内で感染者が確認される事もあったが、こどもたちは感染症対策が身につけているので自らマスクをつけ進んで手洗いをする姿が見られた。

コロナ禍では感染予防対策として職員の会議や園内研修を数回に分けて行っていたが、今年度は全員が集まったの会議や園内研修も実施できた。

全員で行うことで園の課題や目標を共有する事ができたと思う。

年度の初めに掲げた「保育理念、保育目標を強く意識しより良い保育提供を行う」という目標では全員で、全体の計画・年間カリキュラムの見直しを行い園の課題に気付く事ができた。

今年度の特徴として卒園生の来園がとて多く在園児との交流ができた。また、悩みを抱えている児童もいることから改めて保育園の役割や存在の意味を感じた。卒園してからも思い出してもらえよう、また地域に貢献できるよう努力していきたい。

園長 岡本 由美

振り返り

〈1〉 保育内容の充実・質の向上

・保育目標への導きと、こどもの育ちを見越した保育計画を立てる

「全体の計画」をもとに「年間計画」「月案」「週案」を作成し、保育目標の達成を目指す。乳児クラスではこども一人ひとりに合わせたねらいを立て成長を促した。幼児クラスでは集団の活動を取り入れ見通しを持った計画を立てることで、保育内容を充実させた。

0歳児クラスから通して「成長の記録」を定期的に確認し、個の発達に見合った課題の設定、援助の見直しを行った。

・こどもが落ち着いて遊び込める環境設定を行う

机やマット、莫蔭を活用しコーナー遊びを充実させた。また、静と動を意識し、シアター、リズム、自由遊び等ををこどもの様子や集中力を考慮し行うことで、落ち着いて過ごせるよう心掛けた。保育者も一緒に遊び込むことで、玩具の楽しさを伝えていけるよう努めた。

・長期的計画を持った取り組みを園全体で楽しむ

伝統の味噌作りやサツマイモ栽培は今年度も好評で、プランターや畑で植物が生長する様子を観察し、積極的に水やりを行い、栽培、収穫を楽しんだ。年長児による米作りは今年で2回目になる。昨年度の年長児の姿を見ていたこどもたちは、自分たちができることに喜びを感じていた。実際の米農家に田植えを見せてもらい取り組むことで、より理解が深まった。つぼみ米の作り方を卒園記念品として本にして保育園に残し、年長児以外も

米作りに興味が持てるよう工夫した。

- **感染拡大時に備え新型コロナウイルス感染拡大予防の際の保育方法を記録に残し、伝授していく。**

新型コロナウイルスに限らず、感染症が発生した際は拡大防止のために、消毒薬の濃度変更、合同保育を控える、パーティション設置、職員のクラス移動や休憩場所の分散等、コロナ禍で得た知識や方法を実践している。

〈2〉 地域子育て支援事業

- 地域の子育て拠点として機能し、役割を果たす。(※P 16 地域子育て支援 にて詳細報告)

〈3〉 保護者への支援

- **家庭との連携を密に行い、育ちの中でこどもが心身共に健やかに成長する事こそ保護者支援と考える。**

連絡帳やお迎えの時間を利用しこどもの様子を伝え合うことで共通理解を図り、一緒に成長を見守ることが出来た。

保育参観では日頃の様子を見ていただき、こどもの成長を共に喜び合うことができた。また幼児クラスは給食試食会を開催し、好き嫌いや味付け、栄養等の食事の悩みを栄養士も交えて話すことができ、多方向からこどもの姿を認め、情報共有して理解を深めた。

- **個人面談による相談（含アレルギー食用献立面談）**

期間は設けず希望の方には随時対応した。4歳児のみ進級前に全員面談を行い進級への不安を取り除けるよう努めた。

アレルギー除去食を提供している家庭については、栄養士と献立表の確認を行う。また、送迎の時間を利用し、負荷試験や免疫療法等、除去食解除に向けての進み具合を栄養士が保護者と直接話をする事で把握に努めた。

- **園だより、クラスだより、保健だより、給食だよりの発行や、日々の活動報告**

園だより、クラスだよりにて月の予定やクラスの様子を分かりやすく家庭に伝えた。毎日活動記録を作成、掲示し写真付きで一日の様子を伝えることで、保護者の安心感が得られるよう努めた。

- **メール配信システムによる緊急連絡や、保育報告の充実**

年明けよりメールシステムがJモバイルから園—Renrakuに変更となり、全保護者に登録を呼びかけた。緊急時や感染症発生時の連絡、周知を行った。また行事の際は写真を添付しタイムリーに配信した。

- 毎日の活動記録、ホームページを活用し園の様子を公表する

活動記録や行事記録を写真付きで作成し様子を伝えた。

- 保育中の写真販売

毎月15日から月末に、保育者が撮影した前月の保育中の写真を販売し、日々の様子をご覧いただくことが出来た。

- 地域の子育て支援に目を向ける

園見学や園庭開放、育児講座等で来援し、保育者や栄養士に育児相談をする機会を設けた。またその際、利用しているサロンや一時保育施設の情報を伺い、地域のニーズに合った子育て支援の方法を考えていくよう意識した。

園内で行っている講座や交流は毎年好評なので、引き続き行い地域に貢献していく。

〈4〉 職員の育成

- 専門職としてスキルアップを重ねることでより豊かなこどもの成長を助長できる保育者を育てる

保育のねらいを意識した活動の組み立て、実践、報告、振り返りを行う。こどもの月齢や年齢、個人に合わせた支援を考慮した。自分の保育を見つめ直し課題を見つけていくことで、スキルアップに繋げていく。

- キャリアアップを目指し、専門性を高める為の研修に参加できるようにする

(※P14～研修受講報告 参照)

- 業務、行事担当、係活動、クラスリーダーとしての役割を理解し、組織の一員として全体を把握できる力を養う

(※6 運営報告 参照)

主任	倉知 ゆかり	副主任	大前 佑里子
副主任	宮田 彩香	保育リーダー	境 怜美
幼児教育リーダー	宇江城 優奈	障害児保育リーダー	三富 亜美
安全対策リーダー	遠藤 堇	安全対策リーダー	綿抜 茉友
保健衛生リーダー	福川 明子	保健衛生リーダー	村上 奈美
食育リーダー	松本 珠美	アレルギー対応リーダー	梨本 貞子
アレルギー対応リーダー	高橋 さつき	乳児保育実践リーダー	菅原 舞子
幼児保育実践リーダー	木村 美音	保護者、子育て支援 リーダー	中村 梨穂

- **外部研修に積極的に参加し、自己研鑽に努める**

経験年数や、専門性の向上を考慮した研修参加の計画を立て、積極的に参加できるようにした。また、神奈川県エキスパート研修に参加し、個々のスキル向上を図る。

(※P16 外部研修参加報告 参照)

(※P17 エキスパート研修受講報告 参照)

- **研修報告を兼ねた園内研修による知識の共有**

全体ミーティング内で行う。全員参加ができるよう、同一内容を月に2回以上開催し、共通の認識を持って職務にあたるようにしている。外部研修の報告や、嘔吐処理、わらべうた等の実践研修を行い職員の技術の向上に努めた。

(※P15 園内研修報告 参照)

- **保育理念の継承等後輩育成を意識的に行う**

入社時は必ず保育理念の確認を行い、つぼみが目指す保育について伝え、全職員が同じ方向を向いていけるように指導する。また、保育計画や毎日の保育の振り返りを行い、課題を見つけた際は、改めてつぼみの保育とは何か、どのような計画や対応をすればいいのかを、職員間で意見交換を行い伝えていく。またミドルリーダーが見本となり保育を行っていく。

- **主任、副主任は保育現場に入り、保育者、こどもと密接に関わることで園の課題に気付き解決に努める**

定期的に主任会議を行い、園の課題を持ち寄り話し合いを行う。現場の声を聴き園の課題を見出してより良い方法を考えていった。

〈5〉 SDGsへの取り組み

廃材を利用した製作活動や、生活の中で水や紙を大切に使うことを伝える等意識した。野菜栽培や食育を通して、育てる大変さを理解し、食べ物への親しみや作る人への感謝の気持ちを持つことができた。結果として苦手なものも一口食べる、苦手なものは先に減らす、残さず食べる等SDGsを意識することが出来た。



2 児童利用状況（3月15日現在）

利用児童受託状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	105	124	144	135	145	124	157	130	150	129	126	82
1歳児	209	213	229	188	197	205	224	208	216	194	183	126
2歳児	225	217	214	202	188	220	232	194	200	191	184	124
3歳児	271	268	256	234	256	266	296	252	271	230	231	155
4歳児	238	208	206	185	210	211	216	214	216	197	194	126
5歳児	213	198	209	184	180	197	222	184	197	182	194	111

総合計 14012人

延長保育利用状況（朝）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	0	0	3	0	0	16	19	20	19	12	10	3
1歳児	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	13	11
2歳児	22	21	16	18	28	24	17	15	18	20	12	6
3歳児	7	5	4	2	4	4	2	1	0	0	0	0
4歳児	0	16	15	12	17	13	16	14	8	15	12	2
5歳児	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0
合計	29	42	39	32	49	57	56	50	45	47	49	22

総合計 517人

延長保育利用状況（夕）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0
1歳児	9	4	7	4	3	3	1	0	0	0	3	0
2歳児	3	1	4	6	2	0	6	0	8	12	6	6
3歳児	14	16	19	17	19	16	19	25	12	2	6	3
4歳児	1	1	1	1	3	0	1	0	0	0	2	2
5歳児	7	12	15	3	5	7	16	12	7	11	12	5
合計	34	35	47	31	33	26	44	37	27	25	30	16

総合計 385



3 開所時間

- ・月曜日～金曜日 7：00～20：00
- ・土曜日 7：00～18：00



4 職員配置 (延べ)

	保育士	栄養士	看護師	保育補助	調理員	事務員
常勤	16人	2人	1人		3人	
パート	7人			1人		1人



5 運営報告

〈1〉 施設内会議開催日

月	昼ミーティング	全体ミーティング
4月	7日・14日・21日・28日	11日・19日
5月	12日・19日・26日	9日・17日
6月	2日・9日・16日・23日・30日	6日・14日
7月	7日・14日・21日・28日	4日・12日
8月	4日・10日・18日・25日	8日・16日
9月	1日・8日・15日・22日・29日	5日・13日
10月	6日・13日・20日・27日	3日・11日
11月	2日・10日・17日・24日	10日
12月	1日・8日・15日・22日・28日	5日・13日
1月	5日・12日・19日・26日	9日・17日
2月	2日・9日・16日・22日	22日
3月	1・8日・15日・22日・29日	5日・13日 / 6日

〈2〉 月の行事担当を設置し職員全員が参加して運営しました。

月	担当	
4月	境・高橋 (め)・小林 (つ)	入園進級お祝い会・懇談会(すずらん組、ゆり組) 園外活動(ゆり組)
5月	中村・石井・ 村上	こどもの日お祝い会・園児健康診断・懇談会(もも組～ひまわり組) 保育参観・春の遠足(ゆり組)・苗植え・歯科検診

6月	菅原・綿抜	苗植え・園外保育(ゆり組)・田植え見学(ゆり組)・交通安全教室
7月	宮田・中村・早川	プール開き・七夕まつり・お泊り保育(ゆり組) おやつバイキング・一年生交流会(卒園児)
8月	遠藤・木村・松村	夏祭り・ぶどう狩り(ゆり組)
9月	大前・三富・武田(み)	手作り味噌試食会・十五夜・敬老お祝い会(ゆり組) キッズ防災教室・プール納め・プラネタリウム(ゆり組)
10月	倉知・境・松村	運動会・秋の遠足(ゆり組)・お芋ほり・ハロウィンパーティー
11月	大前・遠藤・小林(つ)	ミニ遠足(ひまわり組)・お店屋さんごっこ、焼き芋パーティー みかん狩り(ゆり組)・歯科検診・園児健康診断
12月	菅原・三富	ポップコーンパーティー・園外保育(ゆり組)・クリスマス会 給食試食会(すみれ組～ゆり組)
1月	倉知・石井・村上	書初め・おもちつき・味噌作り・生活発表会、作品展
2月	綿抜・武田(み)	節分・園外保育(ゆり組)・お別れ給食(ゆり組) お別れバイキング(すみれ組～ゆり組)
3月	宮田・木村・早川	ひなまつりお祝い会・お別れ遠足(ゆり組)・防災センター(ゆり組) ミニ遠足(ひまわり組)・卒園式

※毎月の行事：誕生会・避難訓練・消火訓練・救急救命訓練・通報訓練・保健指導・食育

〈3〉 各種係を設置し運営しました。

係名	担当	職務内容・役割
慶弔費	岡本(え)・三富	会費管理・各会企画
装飾	小林(つ)・高橋(め)	園内装飾計画、提案・掲示物の管理
園庭	石井	園庭整備・玩具・危険箇所チェック・物置整理
畑・花	梨本・高橋(さ)	畑活用の計画・プランター栽培の計画
絵本	松村	補充・修理・おすすめ・購入
日用品	武田(ま)	在庫チェック・注文管理



6 保育方針

〈1〉 保育計画の振り返り

年齢	主な内容
0歳児	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりと丁寧に関わり、“今何を求めているのか”というサインを見逃さず欲求に応えていけるよう努めた。 誰がどの発達段階なのか、今できることを担任間で共有し、その子に合わせた援助をしながら発達を促すことができた。 一人ひとりのリズムに寄り添いながらも、集団としてのルーティンをできる限り崩さず近付けていけるようにしたことで、こどもたちも「いつもと同じ」という気持ちから安心して生活し、身の周りの事に意欲的な姿勢を身に付けることができた。
1歳児	<ul style="list-style-type: none"> 前期は発育、発達の個人差が大きく見られたため、朝の登園時間や体質、家庭での生活リズムを考慮した上での情緒の安定を最優先とした。見通しを持った声掛けを行うことで少しずつこどもたち自身が生活の流れを理解し、自分の意志で行動できるようになった。 言葉を獲得できるようにするという目標、ねらいに対しては遊びや生活を共にする中で言葉でのやり取りができるようになり、こども同士で会話をする姿も見られるようになった。感情をぶつけ合い、スムーズにいかないこともあるが、これから先、気持ちが通じた時の嬉しい経験をたくさんしていき、関わり合う楽しさを知ることができるよう仲立ちしていきたい。
2歳児	<ul style="list-style-type: none"> 戸外や保育室にて活動前に周囲の安全点検を徹底する。こどもたちへ注意喚起する際は、わかりやすく簡潔に伝え、都度声掛けすることでこどもたち自身が気を付けて行動できるよう配慮した。 戸外や食事の準備など習慣化されたことで、保育者の声掛けでできるようになった。また、友達の行動を見て真似をすることもあり、互いに良い刺激となっているようにも感じた。 虫や草花、落ち葉や霜柱など、季節ごとの自然に触れ合う楽しさを味わえるようにした。保育者が親しみを持って自然事物に触れることで興味関心を抱くこどももいた。 後期になるとより言葉でのやり取りが盛んになる。休日の出来事や先の予定などを友達や保育者に話す姿が見られた。言葉を話す楽しさを味わうことが大切と考えるため、こどもの話を丁寧に傾聴し共感することで、話す面白さを感じられるように心掛けた。
3歳児	<ul style="list-style-type: none"> 友達同士での関わりは、できる限り見守り必要に応じてこどもの思いを聞き出し代弁するよう努めた。また、相手の気持ちも考えられるよう自分の思いとは違う思いもあるということを伝えていった。 行事に向けた活動では、保育者も明るく参加し、こどもたちの楽しい

	<p>気持ちを共有することで意欲に繋げた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できる限りこどもの言葉を待ち、自分で表現できた時には大いに褒めるとともに要求を受け入れ、表現する喜びや自信に繋がられるようにした。
4歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・友達や保育者との関わりを通して集団生活に必要な約束やルールを理解を深め、コミュニケーションを大切にしながら過ごすことができた。 ・一人ひとりの個性にも寄り添うことで、得意・不得意に配慮した関わりや活動を取り入れ、自信に繋がるよう促すことができた。
5歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会や発表会等の行事では、クラスで話し合いの場を設け、目標を明確にすることで、友達と協力する力や協調性を養えるようにした。 ・1日の流れや始まりと終わりの時間を、時計を使って伝えることで時計の針を意識して生活できるようになった。また、食事や作業を時間内に済ませようとする意識にも繋がり、基本的な生活習慣の確立を目指すことができた。 ・保育者が手本となり一人ひとりの良い所を言葉にして伝え、クラスの雰囲気をも明るくできるよう心掛けた。次第に子どもたち同士でも良い所を見つけ褒め合う姿が見られたため、他人の良い所を見つけることができたことに対しても褒めて伝えた。

- ・毎週火曜日 英語教室「スパイク&アイ」
- ・隔週 サッカー教室「セイント フット」
- ・月1～2回 フィットネス「セイント フット」
- ・月2～3回 運動指導 當銘 恵美子 講師

〈2〉 年間行事計画

- ・別紙「令和5年度 年間行事予定」に準じて実施した。
- ・※P6「月の行事担当報告」 参照

〈3〉 給食・食育報告

・給食試食会・地域交流食育・地域子育て支援育児講座の実施

6月21日	食育講座「離乳食講座」
7月13日	食育講座「乳児食講座」
9月15日	敬老お祝い会（ゆり組の祖父母招待）
12月12日～15日	給食試食会週間（すみれ・ひまわり・ゆり組で希望日を募り実施）
通年	「地域育児相談」として園外の近隣の保護者に対し相談対応

・行事食・お誕生日メニュー（世界の料理・日本の郷土料理）の実施

月	行事	月	行事
4月	お誕生会（オランダ料理） 福岡・宮崎・佐賀・熊本・沖縄の郷土料理 入園進級お祝いメニュー	1月	お誕生会（イタリア料理） 北海道・長崎の郷土料理 ハロウィンメニュー
5月	お誕生会（ハイチ料理） 香川・愛媛・高知・徳島の郷土料理 子どもの日お祝いメニュー	1月	お誕生会（チリ&ペルー料理） 新潟・石川・富山・福井の郷土料理 焼き芋パーティー
6月	お誕生会（ハワイ料理） 岩手・宮城・青森・福島の郷土料理 かみかみ給食メニュー（虫歯予防）	1月	お誕生会（ルーマニア料理）
7月	お誕生会（アフリカ5国料理） 大阪・兵庫・和歌山・京都 七夕メニュー・おやつバイキング	2月	長野・静岡・神奈川の郷土料理・年越しメニュー・クリスマスメニュー
8月	お誕生会（カンボジア料理） 埼玉・茨城・千葉・東京の郷土料理 おやつバイキング・夏祭り <small>（すいか）</small>	1月	お誕生会（北アフリカ5国料理） 秋田・鹿児島・山形・大分の郷土料理 お正月メニュー・お餅つきメニュー
9月	お誕生会（ウズベキスタン料理） 山口・鳥取・島根・広島・岐阜の郷土料理 敬老お祝いメニュー・手作り味噌試食会・十五夜メニュー	2月	お誕生会（ミャンマー&ラオス料理） 山梨・滋賀・群馬・愛知の郷土料理メニュー お別れ給食・お別れランチバイキング
		3月	お誕生会（アメリカ料理） 栃木・奈良・岡山・三重の郷土料理 ひな祭りメニュー・卒園進級お祝いメニュー

- ・郷土料理は1年間で47都道府県制覇。ゆり組3月食育時に1年間の郷土料理の振り返りを行った。
- ・世界の料理は22か国、3月のアメリカ料理を食した後に、ゆり組が今年度食べた22か国の国旗を世界地図に貼り、異文化について思いを巡らせ、振り返りとした。
- ・おやつバイキング・焼きいもパーティ・ポップコーンパーティ・お別れランチバイキングは3歳以上児を中心として行った

・献立表の作成

- ・0歳児は中期・後期・完了の3種類の献立を作成した。
- ・1～5歳児は3歳以上児・3歳未満児の2種類の献立を作成した。
- ・昼ミーティング時に給食会議を実施し、喫食状況を把握、献立作りへ反映させた。
- ・給食室内会議を随時実施し、献立作りへ反映させた。
- ・アレルギー対応献立表をアレルギー別に作成し、実施した。

- ・給食日誌記録と検食、検食簿記録を実施した。

• 面談の実施

- 入園時に個人面談を実施した。
- 離乳食開始時、移行時に個人面談を実施した。
- アレルギー対応の為、献立作成時に毎月個人面談を実施した。アレルギー追加や変更時、必要時になどその都度面談を実施した。
- 離乳食の悩みや食行動の悩みがある保護者に対し、面談にて助言した。
- 成長曲線に問題がある子どもの保護者に対し、面談にて助言した。

• 食育活動の実施

- 0歳児クラスは昼食時に保育士と共に栄養士が食事介助にあたり、0歳児の食育目標に沿って、実施
- 1歳児は11月より、2歳児は6月より、3歳児クラスからはクラスごとに月1回以上の食育活動を実施
状況に応じ感染予防に留意しながら実施
別紙「年間食育計画書」、「食育実施計画書報告書」参照

• 衛生管理の徹底

- 「衛生管理点検表」による確認を毎日朝夕行う。
- 「給食施設衛生管理点検表」にて月に1回確認する。
- 「調理室内害虫駆除点検表」（今年度改訂）にて月に1回確認する。
- HACCPに沿った衛生管理の徹底。

• 健康管理

- 身体測定による成長記録を行い、毎月確認。必要時には保護者との面談、園医への相談。
年度末に入園時からの成長曲線表を作成、保護者に提供。

• アレルギー対応

横浜市策定「保育所における食物アレルギー対応」に準じ、「つぼみ保育園アレルギーマニュアル」（R5.7.1に改訂）を作成、実施している。

• SDGsへの取り組み

食育・給食を通してSDGsを意識した取り組み。

大豆・イエローポップ・米栽培を通し、食さない部分は畑に返す・糠利用（糠クッキー）・わら（肥料、しめ縄リース）など実施し意識を高めた。

給食の残食をゼロにするよう、献立・提供方法を工夫し、日々こどもたての食に対する意欲が増すよう促した。

給食試食会の弁当箱をプラスチック製品使用をやめ、バガス素材とし地球環境に配慮した。
お椀・お箸に関しては試食会用に購入し使い捨てをやめた。

〈4〉保健に関する実施結果

保健だより	月1回 発行
園児健康診断	5月10日と11月15日に実施 井上 隆志 医師
歯科検診	5月30日と11月7日に実施 加藤 靖隆 歯科医師
視聴覚健診	1月19日に3歳児実施
尿検査	10月24日に3・4・5歳児実施
職員健康診断	年1回：全職員
職員検便	月1回：全職員
発作・痙攣等の対応	1件：3歳児男児（熱性痙攣のため救急搬送）
投薬指示	なし
受診	<ul style="list-style-type: none"> ・ 15件 （3月15日現在） ・ 4歳児女児：すこやかこどもクリニック(他児と衝突し左頬打撲) ・ 3歳児男児：すこやかこどもクリニック(廊下を走り、他児と衝突して左こめかみ打撲) ・ 3歳児男児：希望が丘ファミリー歯科(公園で他児とトラブルになり押されて転倒し縁石にぶつかり人中裂傷) ・ 5歳児女児：浜橋整形外科（トイレのドアで指を挟み左人差し指第二関節打撲） ・ 3歳児男児：希望が丘眼科(室内ゲーム中にバランスを崩れ倒れ自分で右目下擦過傷) ・ 5歳児男児：浜橋整形外科（サッカー指導中走って手洗い場の壁へ右頬ぶつける） ・ 4歳児女児：安部医院（走り出す際転倒により右額打撲） ・ 3歳児男児：横浜市民病院（突然後方へ転倒。その後上下肢の痙攣、嘔吐、全身蒼白あり。熱性痙攣のため救急搬送） ・ 5歳児女児：希望が丘眼科（公園の枝で顔を擦過傷） ・ 4歳児男児：安部医院（公園で立ち上がった際遊具にぶつかり左額打撲） ・ 4歳児男児：希望が丘ファミリー歯科（他児とパラバルーン練習時にぶつかり上前歯外傷） ・ 5歳児男児：山口呼吸器内科・皮膚科（食育時にホットプレートに触れてしまい右手人差し指第二関節火傷） ・ 5歳児男児：三ツ境クリニック（餅つき時、右手人差し指に異物が刺さった） ・ 6歳児女児：希望が丘皮膚科（公園で転倒し手の平擦過傷） ・ 3歳児女児：浜橋整形外科（他児が倒した椅子が左親指に当たり打撲・内出血）

--	--

令和5年5月8日から「5類感染症」になり新型コロナウイルスに関しては、国や省庁の決定の下、横浜市や旭区の各機関の指示に従う。

毎日、職員による全園児の検温を含めた健康観察、手洗い指導、また園内の消毒など衛生環境の整備と専門性を活かした対応を行う。

発生した感染症 延べ感染者数（3月15日現在）

病名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
突発性発疹	2	2	0	0	0	0	4
ウイルス性胃腸炎	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	1	1	1	1	2	0	6
ヘルパンギーナ	4	0	3	7	2	1	17
RSウイルス	2	0	0	0	0	0	2
インフルエンザ	1	11	7	8	3	4	34
手足口病	0	0	1	0	1	0	2
溶連菌	0	0	1	2	3	0	6
流行性角結膜炎	1	1	1	0	1	0	4
コロナウイルス	3	2	0	1	1	3	10

〈5〉 各種点検

危機管理	安全点検	毎日：各クラス
	避難・消火訓練	各月1回ずつ
	不審者侵入訓練	年2回
	救急救命訓練	月1回
衛生管理	掃除チェック表	毎日
	トイレ掃除チェック表	毎日2回
	布団乾燥消毒	隔月
健康管理	健康観察	毎日：健康観察表に記入 看護師による視診・健康観察・検温
	身長・体重測定	月1回

〈6〉 環境整備

- ・園舎内：清掃業務を分担して行い、定期的な業務は係担当者が確認し、行う。
保育室内は製作等を利用し、季節を感じられる装飾を施す。

玄関のピクチャーレール、壁面、つるし飾りは月ごとにクラスと職員が担当して作品を掲示した。

エアコンや床暖房を適切に使用し心地よい環境を作る。

- **園庭**：必要に応じ補修、整備を行う。
七夕の時期には笹を立て、製作品を飾り鑑賞を楽しむ。また夏季は日除けを設営し、水遊び時期は線路側フェンスによしずを取り付け、プライバシーの保護に努めた。クリスマスの時期にはイルミネーションを施し楽しい気持ちになるよう工夫する。
- **戸外**：活動時は水たまり確認や石拾いなど危険無く過ごせるように整備を行う。
安全計画にもある公園点検を定期的に行い、安全に遊べるよう情報共有する。
- **エコ**：空き容器等の廃材を、手作り玩具や製作活動に活用した。
要らなくなった書類を裏紙としてコピーやメモ紙にして再利用する。



7 危機管理

安全計画を作成し、ハザードマップの見直しや公園点検の計画、ヒヤリハットのまとめ、考察、改善案を記入し、職員間で話し合いやすくした。

また、BCP（事業継続計画）を作成し災害時にも対応できるよう体制を整えた。

日頃より避難訓練、消火訓練を行い備蓄品の確認等いざという時の為に備えている。

旭消防署さちが丘署による防災訓練の実施：12月4日（月）

- 通報訓練（職員）
- 煙体験（園児）
- 消防車見学（園児）

救急救命研修受講（前受講から5年経過した職員）

Jモバイルメールを使用した伝達訓練を実施し、保護者に協力をいただく。



8 実習生・ボランティア・職業体験の受け入れ

今年度は受け入れなし



9 職員育成と研修計画

〈1〉 職員育成

「つぼみ保育園ガイドブック」を配布し、業務全般、書式の統一を図る。
 「覚えておいてください～つぼみ保育園職員心得～」周知

〈2〉 園内研修（全体ミーティング）

月1回以上実施。外部研修の研修報告を行う。

また、現場での課題に沿ったテーマを決めて実践演習やディスカッションを行う。

月	内容
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養士より「アレルギー児の確認」(松本) ・看護師より「昨年度の怪我の傾向」(福川) ・怪我の傾向を踏まえ、保育現場での対策について(大前・宮田)
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・おむつ交換、調乳、授乳の方法について(菅原・綿抜) ・看護師より「園児の疾患と現状」(福川) ・6月行事担当より(菅原・綿抜)
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・研修報告「新沢としひこ保育実践」(村上・早川) ・7月行事担当より(中村・宮田)
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・研修報告「救命救急研修」(小林(つ)・小林(あ)) ・看護師より「骨折への対応」(福川) ・8月行事担当より(遠藤・木村・松村)
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養士より「アレルギー対応ガイドライン」 ・監査後の改善点について(倉知・大前・宮田) ・9月行事担当より(大前・三富・武田(み))
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・研修報告「保健師研修」(三富) ・10月行事担当より(倉知・境・松村)
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・研修報告「養育支援強化事業研修」(小林(つ)) ・栄養士より「免疫療法と負荷試験」 ・11月行事担当より(大前・遠藤・小林(つ))
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・研修報告「保護者支援」 ・嘔吐処理実践(福川) ・配慮児の対応について(境・武田(み)) ・12月行事担当より(菅原・三富) ・自己評価(中間報告)
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・研修報告「障害児保育」(木村) ・1月行事担当より(倉知・石井・村上)
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・2月行事担当より(綿抜・武田(み)) ・安全管理、事故防止マニュアルについて(倉知) ・新メールシステム、新登降園システムについて(岡本(ゆ))
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度体制発表 ・永年勤続表彰式
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・保育計画、食育計画、保健計画の見直し ・今年度の振り返り
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・研修報告「人権」(菅原) ・3月行事担当より(木村・宮田・早川)

〈3〉 外部研修参加報告

	名称・内容	参加者
4月	幼保小研修	宇江城
6月5日	5区合同研修	早川・村上
6月9日	救命救急研修	宮田・小林(あ)
6月14日	救命救急研修	大前・榊原・倉知・小林(つ)
6月15日	旭区園長会研修	倉知
6月28日	エリア研修 1・2歳児研修	綿抜
6月29日	救命救急研修	石井・近藤・吉谷
7月10日	食育研修	松本
7月14日	エリア研修 4・5歳児研修	宇江城
7月28日	保健師研修	三富
8月29日	ミドルリーダー研修	境
8月31日	幼保小研修	岡本(ゆ)・倉知・宇江城
9月	養育支援事業研修	小林(つ)・榊原・倉知
9月4日	看護職等研修	福川
9月7日	3区合同 障碍児保育研修	早川
9月26日	幼保小接続期研修	宇江城
9月28日	医療的ケア児研修	福川・倉知
9月29日	子育て支援研修	松村
10月6日	エリア研修 2・3歳児研修	遠藤
10月11日	食品衛生責任者実務講習会	岡本(え)
10月24日	自閉症スペクトラム症の理解	木村
11月	わらべうた遊び実践研修	田村・菅原・船橋・倉知・ 大前・中村
11月13日	5区合同 接続期研修	宇江城
11月28日	エリア研修 主任交流会	倉知
11月21日 12月7日	子育て支援員研修	福川
12月15日	食物アレルギー対応マニュアル研修	武田(み)
1月	遊び実践研修	菅原・木村
1月18日	人権研修	菅原
1月25日	幼保小架け橋プログラム	宇江城

<4> エキスパート研修受講報告

	氏名	乳児保育	幼児教育	障害児保育	アレルギー対応 食育	安全対策 保健衛生	子育て支援 保護者支援	マネジメント	保育実践
1	主任 倉知 ゆかり	H29		H29		H29		★必須 H30	
2	副主任 大前 佑里子	H29	H29	H29		H30		★必須 R5	
3	副主任 宮田 彩香	H29		H29			R元	★必須 R5	R元
4	保護者・子育て支援リーダー 中村 梨穂	R5		H29		R2	R元		
5	乳児保育実践リーダー 菅原 舞子		R2	R2	R5				H30
6	安全対策リーダー 遠藤 堇	R4	R4	R2		H29			
7	幼児保育実践リーダー 木村 美音	R元		R4	R2		R5		R4
8	食育リーダー 松本 珠美	H30		H29	H29	H30			
9	保育リーダー 境 怜美	R4	R5	R5	R4				
10	保健衛生リーダー 福川 明子	R4	R4	R4		R4			
11	アレルギー対応リーダー 梨本 貞子	R5	R5		R4		R5		
12	安全対策リーダー 綿抜 茉友	R元		H30		R5	R2		
13	幼児教育リーダー 宇江城 優奈	R4	R3	R5	R4				
14	障害児保育リーダー 三富 亜美	R5	R4		R4		R4		
15	保健衛生リーダー 村上 奈美			R5		R5			
16	アレルギー対応リーダー 高橋 さつき				R5				

〈5〉 自己評価

- ① 年度の初めに課題を挙げ（「今年度の課題」）、途中努力評価をしながら年度末に振り返り、評価した。
- ② 大きな行事の際には職員が個々で自己の役割に対して振り返り、次年度の構成の参考にできるようにする。
- ③ 保護者アンケートの声や職員の「自己評価」とを合わせ、「保育所自己評価」を作成、園内に掲示して公表している。



10 実施した地域交流

〈1〉 幼保小交流保育

月	施設名	内容	場所
4月	笹野台小学校 1年生	一年生を励ます会	
5月	希望が丘小学校	幼保小合同研修会打ち合わせ	希望が丘小学校
7月	つぼみ保育園卒園生	新1年生交流会	つぼみ保育園
8月	希望が丘小学校	授業参観	希望が丘小学校
8月	希望ヶ丘小学校	幼保小合同研修会	希望ヶ丘小学校
9月	東希望が丘小学校	運動会リハーサル・3年生と会話	東希望が丘小学校
10月	東希望が丘小学校	運動会リハーサル	東希望が丘小学校
10月	東希望が丘小学校	運動会リハーサル・6年生と会話	東希望が丘小学校
10月	笹野台小学校	運動会見学	笹野台小学校
11月	近隣の幼稚園、保育園	就学前交流	ハッ橋幼稚園
11月	近隣の幼稚園、保育園	環境教室	出刈場公園
1月	近隣の幼稚園、保育園 希望ヶ丘小学校	どんと焼き	ハッ橋幼稚園
1月	希望ヶ丘小学校 1.2年生	ゲーム・手作りおもちゃ遊び	希望ヶ丘小学校
1月	希望ヶ丘小学校	新入生引継ぎ	つぼみ保育園
1月	笹野台小学校	新入生引継ぎ	電話にて行う
2月	東希望が丘小学校	ゲーム・教室探検	東希望が丘小学校
2月	笹野台小学校	ゲーム・教室探検	笹野台小学校

〈2〉 世代間交流

5歳児クラスの在園児の祖父母対象に交流会の計画、実施する。
 また、隣接する老人施設の敷地内にある畑を借用し、花や作物の成長を共有して楽しむ。
 12月には新型コロナウイルスの影響で控えていた、中銀ライフケアとの交流も再開する。
 3・4・5歳児が施設へ出向き、体操やダンスの披露、じゃんけん手遊びで一緒に遊ぶなど、お年寄りとの交流の機会を設ける。



11 地域子育て支援

〈1〉 施設開放実施日

4月	18日	8月		12日	12日
5月	16日・23日	9月	12日	1月	16日
6月	13日・20日	10月	17日	2月	13日
7月		11月	14日	3月	5日

園庭を開放し、電車を間近で見たり、玩具で遊んだりして過ごしていただいた。

〈2〉 実施した交流保育

	実施日	内 容	時 間	利用人数	付添い
1	10月11日	リズム遊び	10:00~10:45	6人	5人
2	10月31日	お芋ほり	10:00~11:00	5人	5人
3	11月29日	秋のおはなし会	10:00~10:45	6人	5人

〈3〉 実施した育児講座

	実施日	内 容	時 間	参加人数	付添い
1	6月21日	離乳食講習	10:00~11:00	4人	4人
2	6月28日	親子運動教室	10:00~11:00	2人	2人
3	7月13日	乳児食講習	10:00~11:00	4人	4人

〈4〉一時預かり保育利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
非定型	3	4	10	13	12	13	12	13	12	14	11	11
緊急	1	3	2	0	5	4	2	2	3	3	0	1
リフレッシュ	1	1	1	1	1	0	1	1	0	0	1	1
合計	15	8	13	14	18	17	15	16	15	17	12	13

総合計 163人

〈6〉貸し出し絵本の利用

- ① 利用者数：延べ2名
- ② 貸し出し冊数：5冊



12 障害児・要支援児計画

障害児については個別計画を作成し、支援事項をミーティングや引き継ぎノートにて周知する。専門機関との連携を図り、対応の仕方を家庭と共有して支援していく。

配慮を必要とする児童については、個人面談を行い園での様子を伝えつつ、困り感の共通認識を持ち、対応方法を共に考えていく。必要に応じて専門機関の案内を行う。



13 要望・苦情・相談窓口の仕組み

要望・苦情・相談の解決の流れを「つぼみ保育園重要事項説明書」に明記し、保護者に周知していく。

「ご意見箱」を設置し、保護者が気兼ねなく投稿出来るようにする。

相談・苦情受付 担当者	氏名	岡本 由美	
	電話番号	045-360-0202	
相談・苦情解決 責任者	氏名	古谷 敬	
	電話番号	045-360-0202	
第三者委員	榎 佳子	民生委員	電話番号 045-392-2238
		児童委員	
	見崎 明子	当園相談役	電話番号 090-6566-1724